

二十四節気 **小暑**

(7月7日)

七十二候 **蓮始開** (はすはじめてひらく)

(7月12日)

鷹乃学習 (たかすなわちわざをなす)

(7月17日)

報告者 上田真佐江

1 季節の移ろい ニイニイゼミ、ウグイス、シジュウカラ、コゲラのドラミング...これからの森では、清涼感だけでなく、セミ、鳥、虫...時間帯によって異なるさまざまな音も楽しめます。

(撮影：7月9日10日)



オオバノトンボソウ ラン科
トンボが飛ぶ姿を連想させる花。



オオシオカラトンボ

トンボ科

左：雄

右：雌



ナツアカネ トンボ科



ノシメトンボ

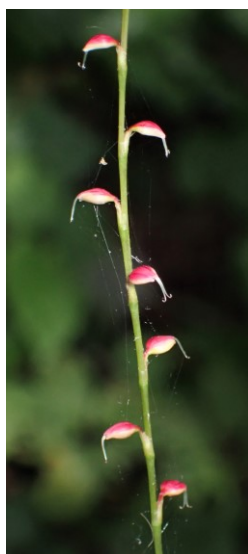
トンボ科



チダケサシ 乳茸刺
ユキノシタ科
チチダケを刺して持ち帰ったというのが名の由来。葉は、花のずっと下についています。



キンミズヒキ
バラ科
金水引



ミズヒキ タデ科
花の上半分が赤色、下半分が白色。花柄が細長く、紅白の水引のようです。



アキノタムラソウ
シン科



オトギリソウ 弟切草

オトギリソウ科

褐色の小点が多数あります。斬られた弟の血が飛び散って...植物にとっては迷惑!?な名の由来。



トモエソウ 巴草

オトギリソウ科

花弁がカーブし巴にめぐる形の花。



ヤマハギ マメ科

マメ科の花は、花弁がおしべとめしべを包み込み自家受粉しやすい形。遺伝学の基礎となったメンデルの法則は、自家受粉し純系を作りやすいマメ科エンドウを使った実験に基づいています。



コムラサキ シソ科

ムラサキシキブに続いてコムラサキも開花。果実の膨らみも。



イヌビワ クワ科

果実でなく花囊。内側には小花がいっぱいあります。



対をなす棘

ハリエンジュ 園路沿いに出る幼木 マメ科
別名ニセアカシア 生態系被害防止外来種リストの産業管理外来種。根から根萌芽し繁殖力旺盛な高木。葉柄基部の対の棘が特徴。駆除対象。



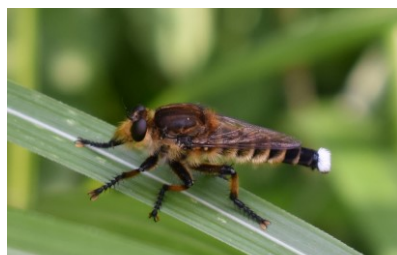
ハシバミ カバノキ科

千葉県レッドリスト：一般保護生物 (D)
準絶滅危惧種
ヘーゼルナッツはセイヨウハシバミ。



クリ ブナ科

膨らみかけた果実。真ん中の上にめしべの柱頭が見えます。



シオヤアブ 雄 昆虫を食べます



コブシ モクレン科

こぶしの形に膨らんだ果実

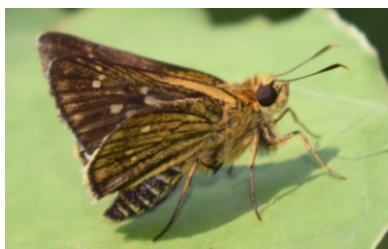


ダイミョウセセリ セセリチョウ科



チャバネセセリ

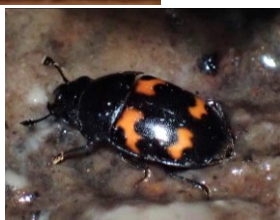
セセリチョウ科



コチャバネセセリ

セセリチョウ科

クヌギの樹液で



ヨツボシケシクスイ

ケシクスイ科



シャクトリムシ

シャクガ科などガの幼虫



ショウジョウバエのなかま

つる植物



サルトリイバラ
サルトリイバラ科



オニドコロ 雄花
ヤマノイモ科



カラスウリ ウリ科
夜間にだけレースを広げるように開花



キウイフルーツ
マタタビ科
生態系被害防止外来種リストの産業管理外来種。駆除対象。

水が見えない!?

6月中旬から7月10日までは、ほぼ雨が降らず夏日が続き、弁天池や水路では底が出た状況。水路についた足跡の中に水面が見えます！こんぶくろ池や弁天池は、高い地下水位が顔を出したもので、ある程度の地下水位の高さは、保たれているようです。



水路



足跡の中に見える水面



弁天池

2 ノジトラノオ 開花株数のカウント

開花株数は112株。前回カウントした2019年は175株、前々回2014年は251株。草地を再現した後の2007年15株、2008年58株から増加傾向。

冬場に、ノジトラノオが群生する草地の全面を冬刈りしますが、ススキや、低木のヌルデやヤマグワ、タラノキなどの成長は速く、草原性の希少種を覆うので、春～夏も適宜カットしています。



ヌルデ ウルシ科



オトギリソウ
自生地の整備

3 オトギリソウ自生地の整備

ノジトラノオが群生する草地内で、オトギリソウ自生地を整備しました。

4 タシロラン 開花株数のカウント

開花株数は38株。2021年10株。2020年9株。タシロランは、光合成を行わない菌従属栄養植物。腐朽木材が蓄積し、菌根菌が豊富な炭素源を得られる条件下では、一つの種子から発生した個体が多数の花茎を林立させることができるそうです。



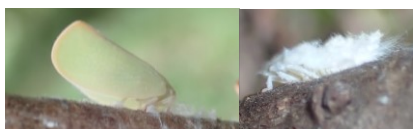
タシロラン ラン科
葉緑素を持ちません

5 クロツバラ周辺の整備

クロツバラ クロウメモドキ科

環境省RDB:一 千葉県RDB:最要保護生物(A) 絶滅危惧Ⅰ類
以前台風で倒れ、保全により維持。台風で幹が横倒しになった部分の下にアリが多数卵を産んでいたのを除去しました。

多数のアリの卵
幼虫も見えます



アオバハゴロモ
左：成虫 右：幼虫



参加人数

4名